

子どものころの手遊びが本業に

—消しゴムはんこを作り始めたきっかけは？  
子どものころから授業中にひまつぶし  
でやっていたんです（笑）。  
私は先生の話を黙ってじっと聞くとい  
うのがどうしてもできなくて、手を動か  
しているほうが頭に入ってくる子だった

ので、先生に怒られながらも、そのほう  
が話を聞くことができたんですよ。それ  
で、筆箱にあったものをいじったり落書  
きをしたりしていました。たまたまカッ  
ターナイフと消しゴムが入っていたの  
で、インシヤルを作ってマーカーで色を  
塗ってノートの端っこに押ししていまし  
た。それがだんだん高じて、中学のとき

21世紀★静岡県人物ファイル

消しゴムから広がるアートの世界

消しゴムはんこ作家 津久井智子

◎つくい ともこ◎ 1980年、埼玉県生まれ。  
子どものころから消しゴムはんこ作りを始め  
る。和光大学人間学部卒業。2003年より象夏  
堂の屋号で、オーダーメイドの消しゴムはんこ  
製作・販売を開始。メディア出演やワークショップ  
などを通して、消しゴムはんこの楽しみ方や  
活用法を提案。最近は活動の場を海外にも広げ  
ている。おもな著書に『消しゴムはんこ。はじ  
めまして。』（大和書房）、『かんたん、消しゴムは  
んこ。』（宝島社）などがある。熱海市在住。



▲風景や動物など、消しゴムから生み出された作品の前で（熱海の個展会場にて）

にはドラえもんのはんこを友達に作って  
あげたところ、それを見た別の子が、「次  
の休み時間までに、私の名前のはんこを  
作って」みたいになつて。

—中学生ですでに注文を受けていたんですね？  
そうです。「OK!」と（笑）。もとも  
と子どものころから絵ばかり描いていた  
ので、さし絵や新聞、ポスター、先生の  
似顔絵など全部請け負って、お金こそも  
らっていないんですけど、イラスト  
屋みたいな感じでした。

将来は漫画家になりたくて、大学の人  
間学部で心理学や文化人類学、民俗学を  
学んでいました。だから大学生のとき  
は、消しゴムはんこのことはほぼ忘れて  
いて、友達の誕生日プレゼントにメル  
アドレスの消しゴムはんこを作ってあげ  
たくらいです。趣味というよりは、友達  
が喜ぶから作っていたような感じですよ。  
—それがどうして仕事に？

とくに本業にするという意気込みもな  
く、大学を卒業したあとはバイトをしな  
がら絵を描いていたんです。あるとき  
友達から「クラフトマーケット（手作  
り市）を開催するから、手づくりの販

売品を何か出してよ」と頼まれました。  
「えっ、値段をつけて売れるものって何  
だろう？」と考えたときに、消しゴムは  
んこならと、1個300円で販売したん  
です。それを見たお客さんたちから、「絵  
の横にお店の名前と住所を入れてもらえ  
ない？」とか、「この10倍のお金を出す  
から店のマークを彫ってほしい」など、  
思いのほか注文があつて、もしかしたら  
もっと需要があるかもしれないと、ほか  
のクラフトマーケットにも出品し始めた  
んです。

—そうしてだんだん作品が増えてきたの  
でホームページで紹介したら、メールで  
注文が来るようになったんです。だんだ  
ん口コミでも広がって、バイトが続けら  
れなくなるほどに…（笑）。それで、バ  
イトよりおもしろいと思って、象夏堂の  
看板を出して注文を受けるようにした  
ら、それだけで家賃を払ってご飯を食べ  
ることができたんですよ！

24歳のときには、NHKの「おしゃれ  
工房」から出演依頼がきたんです。視聴  
率がいいといわれる年賀状の回に出演さ  
せていただいて、そこからあつという間



◀ 松・竹・梅の3つのはんこでも、押す位置、組み合わせを変えればバリエーションが広がる

に本を出版する話になりました。  
——とんとん拍子ですね。

ええ、来た仕事をそのまま引き受けているうちに、これが本職になってしまったという感じです。

両親は、普通に就職してほしかったようです。でもたぶん無理だと思って(笑)、あきらめてくれた感じです。24歳のときに「はんこで稼いで自活する」と言ったら家を出たときは心配されましたけど、今となっては喜んでくれています。

### 消しゴムはんこはだれでも簡単にできる

——消しゴムはんこの魅力は？

簡単に始められて自由なところでしょうか。木版画のように木材をノミで彫るのではなく、身近にある消しゴムとカッターナイフで簡単に作る事ができます。力もいらぬし子どもでも作ることができます。力もいらぬし子どもでも作ることができます。また、木版画は1回色をつけたら色を変えることはできませんが、消しゴムはんこはふき取れば、いろいろ

## 彫るおもしろさと押す楽しさがある

物などで作る子もいます。大人はお手本がないと手も足も出ない人がほとんどですけど…(笑)。

刃物を使うので手元が危ない子にはつきつきりになりますが、なかには大人顔負けの細かいものを作る子もいます。大人の場合は何度ぐら

いの角度でナイフを入れるなど、まず理論を説明してから作り始めるんですけど、子どもの場合は、説明しても無理なので作りながら手取り足取り教えていきま

す。子どもはいつたんやり方のコツをつかむと、飲み込みが早くてびっくりします。数時間ですごく進歩するのでおもしろいですよ。

最近は何工の授業で刃物を使うことが少ないと聞きます。

な色で押すことができます。もちもよくて10年ぐらいいもつので、きれいに保存しておけば、昔作ったものと新しく作ったものを組み合わせることもできます。「版画でしょうか?」とも言われるんですけど、はんこは押すことに位置が変わるので、同じものはできません。だからいつでも一点ものなんです。また、できあがった一つの作品は小さくても、パーツごとに分けて作れば大きい作品もできますし、時間とアイデアさえあれば、凝った作品も作ることができます。

初めての方でも1回でなんとか形になります。でも、仕上がりを美しくしようとするとけっこうむずかしくて、奥深さもあります。消しゴムはんこ作りの教室を始めて7年ぐらいいなるんですけど、最初から通ってきている人でもいまだにむずかしいと言います。彫り方のむだのなさとか、ちょうどいい角度と深さが追求されるので、そこにハマるみたいです。消しゴムはんこは彫ることで完成ではなく、押し

大人になるまで道具を使ってこなかった人が、急に使い方を身につけようとしても、なかなか上達しません。カッターナイフは引かないと切れないのに、「押しでも切れない」と言う人がけっこういます。でも子どもの中に使うと数時間で使いこなせるようになりますね。だからたとえけがをしても子どもの中に刃物を使ったほうがいいと思います。消しゴムはんこは道具の性質を手や感覚でつかむ訓練になるし、頭も指先の神経も使うものなんです。

### 消しゴムはんこの可能性を求めて

——作品を作るときはどんな気持ちで向き合っているんですか。

とにかく夢中なんですけど、自分が気持ちいいと思うことに逆らわないようにしています。たとえば鳥の場合は、羽がちよつと角張っていたり、左右が対称的すぎたりすると気持ち悪いとか、目をもう少し小さくしたほうが気持ちいいとか…自分のイメージにいかにか忠実に従っていくか

なく、押し

て完成します。この二

つはまったく別物

です。彫るのが上手でも色

使いやデザイン構

成が苦手な人もいますし、彫るのは苦

手でも色合いとかデザインのセンスがよくて、だれかが彫ったものを使って

押すと、彫った人よりすばらしい作品

ができあがることも。そんなおもしろ

さもある消しゴムはんこです。



ケースに収納された作品の数々▲

### 子どものときに刃物体験を

——小学生に教えることもあるそうですね。

ええ、低学年はまだ刃物は持たせられないので、はんこを貸し出して自由にインクをつけて押ししてもらいます。高学年は簡単な作品を作ります。私のお手本をまねする子もいますが、自分で描いたキャラクターとか乗り物、動

す。だから、自分の感覚をどれだけ研ぎ澄ますかが大事だと思っています。

今では、私の本を見て消しゴムはんこを作る人が日本じゅうに何万人というようになりまして。イベントも都内で毎年やってきているので、趣味の手作りというイメージが固定されつつあります。

それはとてもうれしいのですが、第一人者としては、今後は自由度をもっと広げて、アートとしてどう描くかなど、新しい世界を広げていかなくてはと考えています。最近では、消しゴムはんこを使った壁の内装、洋服やお皿をデザインする話もきています。このジャンルがどれだけ広がる可能性があるのか、私の歩む道を楽しみながら見守っていただけたらうれしいです。

(構成・も)

